

# 夜の辛夷こぶし

作||山本周五郎  
演出||兒玉庸策

出演||檜山文枝



山本周五郎の  
人情あふれる世界を  
檜山文枝の一人語りで

照明||古宮俊昭  
効果||岩田直行

2015年7月23日(木)14時開演  
紀伊國屋サザンシアター(新宿南口)  
6月1日(月)前売開始

あらすじ

「夜の辛夷」は、岡場所で交錯する秘密を持った男女を描く山本周五郎の傑作短編です。

権現前の岡場所の女・お滝は二十四になる子持ち。兇状持ちが逃げ込めば岡つ引に密告して礼金を得、客には年を偽って稼ぐため、朋輩に罵られています。

ある十二月の寒い晩、彼女は岡場所などに来る人柄とは違った元吉という職人風の客をとりました。

「寝床を二つ取ってくれ」と云う元吉に「もういらっしやらないわね」とお滝。

しかし、また彼はやって来たのでした……

庶民の生活に寄り添い、同じ目の高さから名もない男女の哀歓を描いた作品を、檜山文枝の一人語りによって舞台化します。

# 夜の辛夷

作 || 山本周五郎  
演出 || 兒玉庸策  
出演 || 檜山文枝

みなさまへ

これまで幾度となく朗読の仕事を頂いてきましたが、あらためて一人舞台というかたちで皆様にお届けすることになりました。

以前、周五郎原作の舞台に出演したご縁もあり、大ファンの一人を任じています。

周五郎ならではの深みある人情の機微を彩りあざやかに表現できればと思っています。



檜山文枝

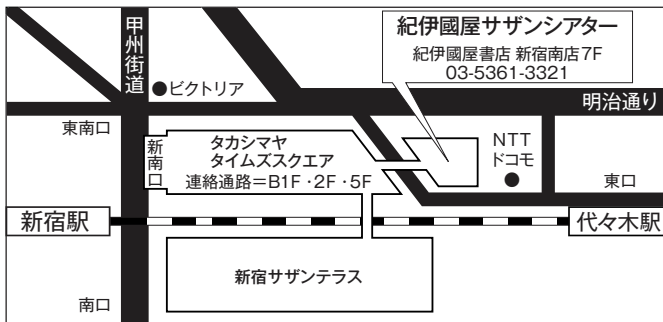
檜山文枝 かしやま・ふみえ

東京都生まれ。63年俳優座付属養成所を卒業後、民藝俳優教室に入る。『アンネの日記』(64年)アンネ・フランク役でデビュー。NHK朝の連続テレビ小説「おはなはん」(66-67年)でお茶の間の人気を博す。原田康子原作・小池倫代脚本『海霧』で紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。最近の舞台は吉永仁郎作『静かな落日』広津桃子、小山祐士作『冬の花 ヒロシマのこころ』門田公枝、井伏鱒二原作『集金旅行』コマツランコ、佐野洋子原作『シズコさん』ヨーコなど。舞台を中心に映画、テレビ、ナレーションなど幅広く活躍している。

山本周五郎 やまもと・しゅうごろう

1903年、山梨県生まれ。本名、清水三十一。小学校卒業後、銀座の質屋で奉公、後に筆名としてその名を借りることになる店主・山本周五郎の庇護のもと、同人誌などに小説を書き始める。26年『須磨寺附近』で作家デビュー。43年『日本婦道記』が直木賞に推されたが、受賞を固辞。その後もすべての文学賞を辞退しつつも、『樞ノ木は残った』『赤ひげ診療譚』(58年)『青べか物語』(60年)など次々と代表作を発表した。67年、63歳で逝去。

## 7月23日(木)14時開演 紀伊國屋サザンシアター



新宿駅南口徒歩8分、新南口徒歩5分  
〒151-0051  
渋谷区千駄ヶ谷5-24-2  
紀伊國屋書店新宿南店7階  
☎03-5361-3321  
開場は開演の30分前、  
受付は1時間前からです。

●入場料金(全席指定・税込み)

一般=4,500円 学生=2,000円(劇団のみ取り扱い)

前売開始=6月1日(月)

## 劇団民藝公演 ご案内

# 黒い雨

八月六日広島にて、矢須子

原作=井伏鱒二  
「黒い雨」(新潮社刊)より

上演台本=笹部博司  
演出=丹野郁弓  
出演=奈良岡朋子

7月22日(水)14時開演  
23日(木)19時開演  
紀伊國屋サザンシアター

8月16日(日)14時開演  
川崎市アートセンター

前売開始=6月1日(月)

チケット取り扱い  
劇団民藝 044-987-7711  
(月~土 10:00~18:00)

ローソンチケット  
0570-000-407(オペレーター対応 10:00~20:00)  
0570-084-003(Lコード 33430)

キノチケットカウンター(窓口販売のみ)  
新宿東口・紀伊國屋書店本店5階(10:00~18:30)